

5/14(日) 手話言語研究センター主催
文化イベント「手話落語の世界をのぞいてみよう」
～『落語』を通して言語と文化を考える～



関西学院大学手話言語研究センターは5月14日(日)、ろう者として初のプロ落語家となり、上方手話落語会代表を務めるデフー福さんを招いて文化イベント「手話落語の世界をのぞいてみよう」を大阪市北区の関西学院大学大阪梅田キャンパスで開きます。

同センターは、手話の言語としての位置づけを学術的に確立することに加えて、その社会的な認知度を高めることを目的に昨年4月に開設されました。今回の文化イベントはその活動の一環です。

イベント当日は、関西学院大学の甲山落語研究会の学生による前座、そしてデフー福さんによる手話落語があり、デフー福さんと学生の対談も予定されています。落語を通じて手話言語と音声言語などの言語の多様性や、それぞれの文化を感じていただけます。

ぜひ、本イベントの告知並びに取材をよろしくお願い致します。

※一般参加可(申し込み必要、先着80名)、無料、手話通訳・要約筆記あり

■日時 2017年5月14日(日)13:30-16:30(受付13:00～)

■場所 関西学院大学大阪梅田キャンパス1004号教室
(大阪府大阪市北区茶屋町19-19アプローズタワー10階)
(http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)

■イベント内容

手話落語	デフー福(上方手話落語会代表)
落語	甲山落語研究会(関西学院大学)
対談	デフー福 & 甲山落語研究会

■申込方法 関西学院大学手話言語研究センターHPから
(http://www.kwansei.ac.jp/c_shuwa/news_top.html)

■一般からのお問い合わせ先:

関西学院大学手話言語研究センター

Tel: 0798・54・7013 Fax: 0798・54・7014

Email: slrcenter@kwansei.ac.jp (手話言語イベント受付)

次号 2017年4月21日(金)発行予定

西宮聖和キャンパス



聖和の春の風物詩「チョークアート」

見頃は4/18(火)～20(木)

西宮聖和キャンパスは、教育学部や聖和短期大学の校舎のほか、関西学院幼稚園があり、園児や近隣に住む子どもたちやその保護者らが毎日のように訪れ、日常的に子どもたちの笑顔が溢れている。また、学生同士のコミュニケーションが盛んなだけでなく、学生と教職員の距離も近く、互いに元気よく挨拶する姿が見られるなど、挨拶は西宮聖和キャンパスならではの光景となっている。



その雰囲気、より一層の温かさを添え、訪れる人を楽しませてくれるのが

「チョークアート」。これは、チョークを使ってキャンパス内の道路に絵を描くもので、教育学部の「美術Ⅰ」の授業として行われている。「美術Ⅰ」は、保育士資格や幼稚園・小学校教員免許取得を目指す学生にとって必修科目。教育学部生の約2/3に当たる約200名が履修していることから、描かれる絵は壮大で、まさにアートと言える。今春は、4月18日(火)・19日(水)・20日(木)の授業で行われる予定で、1号館・2号館・3号館付近の道路がチョークアートで埋めつくされる。西宮聖和キャンパスの春は、上を向いて桜を見るもよし、下を向いてチョークアートを見るもよし、見どころ満載だ。

なお、チョークアートは、聖和短期大学の授業として実施する10月初旬にも見ることができる。この春、地域に開かれた西宮聖和キャンパスに足を運んでみてはいかがだろうか。

※キャンパスへの入構可能な時間帯は下記のとおり。

平日:8時50分～16時50分、土曜:8時50分～12時20分

※18日・19日・20日の授業時間帯については、関西学院広報室にお問い合わせください。(TEL:0798・54・6017)

